

ちなみに、

勘里絵利奈です。ご敬老の皆さま、敬老の日、おめでとうございます。
元気で長生き、さすがです！ 私は頸椎を痛め、首・肩・背中・腕…と未だに痛みが抜けません。「健康」の大切さを思い知った、9月でした。



上の絵、どこかわかりますか？ 答えは役場の前の駐車場に隣接する稲水公園。実際は、下の「1」の写真のような状態なのですが、「こんな風に花いっぱいになりたいな！」と、知人に描いてもらったイメージ図です。

実は今、「マチヘソプロジェクト」というプロジェクトを進めています。稲水公園のある交差点を中心に、フロアラルホテル下のメントマリ公園から上に続くサンゴ道路の縦の道、商店街が続く横の道周辺は、人口が多く、役場や中央公民館、商店街等たくさん機能が密集しているため町民が何かしらの用事で立ち寄り、町の中心地です。また、ホテルに宿泊する観光客やビジネス客等、島外の人の往来もあります。「マチヘソプロジェクト」は、この中心地を身体を中心「おへソ」に見立てて「マチヘソ」と呼び、ここに「沖永良部島らしい暮らし（島スタイル）」を詰め込んで元気にしていこうというプロジェクトです。中心地に元気が形となって見えることで、そこから派生して、町全体・島全体が元気になっていくんじゃないかと考えています。（ちなみに誤解してほしくないのは、私は、今が「元気が無い状態」だとは思っていません！「見える形」にしたいんです）

今年の2月から構想を練り始め、役場や商工会、ホテル、バス企業団、小学校関係者、生活研究グループ、農家さん、そして近隣住民の方々それぞれお話をし、何ができるかイメージを膨らませてきました（上の「稲水公園花いっぱい計画」はその一部です）。そして先日、それぞれの立場の皆さんに一堂に会してもらい、第一回目となる「マチヘソミーティング」を行いました。これから何度かみんなでワーワーギャーギャーとこのミーティングを繰り返して計画を詰め、来年度より実行に移していきたいと思っています。

このプロジェクトは、たくさんの方々の協力が必要です。一緒に盛り上げて下さる方、募集中です！ このページでも進捗を伝えていきますが、言葉ではうまく伝えられないので、ミーティングで直接進捗を確かめに来て下さい。



1_現在の稲水公園。2_マチヘソミーティングは、いろんな立場の方と一緒に組織横断型で実施しています。3_メントマリ公園をもっと上手に使いたい。4_知名字敬老会。5_宝友会の清掃作業は朝6時半から。早いっ!!